

Forest Good 2019 間伐・間伐材利用コンクール


応募申込書（継続的取組部門）

※受付番号 **継続 1 7**

会社名・団体名等

間伐こもれび会

受賞年度 2018

取組等の名称	間伐材の完全利用を目指し、且つ、市民活動の自立・継続・発展性を図る取り組み		
活動の種類		間伐材の利用に係る取組（製品生産、資材利用、生活用品など）	
	<input type="radio"/>	間伐の実践（間伐の実施・普及、集約化取組、間伐技術の開発・工夫、間伐材の販売など）	
		環境教育活動（地域住民への普及啓発活動含む）	
受賞の内容 （概略）	2018 間伐実践・環境教育部門 特別賞 「農業機械の改造による自作ロープウインチの開発」 農業機械の改造による自作ロープウインチの開発・導入による間伐作業の安全性の向上と省力化。		
受賞後の展開 （受賞から現在 まで）	弊会は、自作ウインチを稼働させることで、作業効率を落とすことなく月約4日、年間で約45日、森林間伐整備活動を実施し、間伐作業の安全性を向上しつつ森林の間伐・整備活動を行っています。また、機械化による作業の省力化によって女性の間伐作業も可能となり、昨年度(2018年度)4名(内2名が女性)、本年度(2019年度)は、既に、5名(内3名が女性)の新規会員を獲得しています。		
今後の展開 （現在から未来 へ）	森林は、生物多様性の維持、水の源、大気浄化、天然のダム機能といった役割を持っています。森林が持つ本来の機能を維持するためには森林の間伐・整備が必要不可欠です。しかし、山間地の森林の整備の重要性は都市部生活者には伝わりにくいのが現状です。間伐材を活用して作られる「間伐材アイテム」を展開することは、森林整備の重要性を都市部生活者に周知するため有効な手段といえます。また、一方で、市民活動が森林の間伐・整備を継続的に実施するためには資金が必要です。活動資金を寄付金や助成金に依存することなく、間伐材アイテムの販売収益を森林整備活動の資金とすることで、自立性・継続性・発展性のある市民活動へと促進することができます。		
取組の実績	弊会は、「木育」を目的に、間伐材で「積み木(児童向け)」を制作、地域保育園等への贈呈活動を実施してきました。しかし、製材した間伐材を原料とした積み木生産の歩留まりは約20%に過ぎず、約80%の間伐材は未利用の状況でした。また、森林の間伐整備の現場では、出荷できない間伐材、除伐作業での雑木など、多くの未利用な間伐材が存在しています。そこで、2018年度より、間伐材の100%利用を目指し、間伐材利用アイテムの開発・製品化に取り組んできました。 【生活グッズ】「積み木」の制作過程で出る木屑からヒノキ水、ヒノキのスマークチップ。【ペット用グッズ】ペット用ヒノキの式床。【キャンプ・防災グッズ】間伐材として出荷できない間伐材からスウェーデントーチ、丸太ロケットストーブ。立ち枯れした松の木から採取したファットウッド。除伐した雑木でリメイクした斧。【農業用肥料】地域農家と連携し間伐材チップから農業用肥料作りなど。 添付資料：間伐こもれび会公益事業三つ折りパンフ・間伐材アイテム三つ折りパンフ		
その他			
取組、製品等の 写真、図表等	 <p>平成元年9月22日、株式会社デンソー本社5号館(愛知県刈谷市)で開催された「デンソーグループ・ハートフルまつり」に、木育を目的とした「積み木遊びブース」と、間伐材アイテム販売ブースでの出展風景。</p>		

連絡先等 (公表可能な範囲 でご記入下さい)	(住所) 〒446-0002 愛知県安城市橋目町茶臼2 1 3 (担当部署等) 会長 伊藤 浩 (電話番号等) TEL: 090-3952-2214 FAX: 0566-98-1454 (URL) https://kouboukomorebi.jimdofree.com/
------------------------------	---